

あいはつの心で 生きる力の 根っこ を育てる

学校法人 常盤学園
常盤幼稚園



学校法人常盤学園 ときわ幼稚園

常盤幼稚園

あいさつの こころを育てる

あ
り
が
と
う



あいさつが育む、 3つの大切な「こころ」

あいさつは、社会生活を営む上で欠かせないコミュニケーションの手段であると共に、人間形成の過程にある子どもたちが、人として大切なものを身につける、大変意義のある行為です。

常盤幼稚園では、保育者と園児が積極的にあいさつを実践し、あいさつにこめられた想いや力を実感できるよう取り組んでいます。それが子どもの健やかな成長の糧となり、ひいては彼らの豊かな人生につながるものと確信しております。



1

あなたは、大切な存在だよ

「自己肯定感」を高める

幼児期に何よりも大切なのは、「自己肯定感」を高めることだと言われます。「自分は大切にされている」という思いです。目を合わせ、笑顔で交わすあいさつは、「今日も元気に来てくれて、うれしいよ」というサイン。いつも自分に声をかけてくれる、笑顔をいっぱい向けてくれる。そんな体験が「私は、大切にされているんだ!」という思いにつながります。園児からのあいさつには、先生たちは満面の笑顔でこたえます。お友だち同士も、笑顔であいさつ。自分のあいさつを、みんなが受け止めてくれることは、ものすごく大きな喜びであり、安心であり、満足です。そうして育まれた思いは、子どもたちの心の土台となり、生きる力の根つことになってゆくのです。

2

思ったこと、何でも言ってね

「思いを伝える力」を身につける

当園では、あいさつを通して、「思いを伝える力」を培っています。あいさつは、他人に自分の心を開く、最も身近で大切な方法だからです。

子どもたちは、初めは恥ずかしくて、「おはよう」の一言がなかなか出ません。そこへ先生たちは、ゆっくり、何度も、笑顔で声をかけ続けます。そうして口から出た小さな声は、初めてのコミュニケーションであり、大きな心のワンステップ。自分の思いが伝わった体験は、とても気持ちのいいもの。やがて子どもたちは、積極的に自分のことを話せるようになります。輝く未来のために、子どもたちみんなが、のびのびと自分を出せるようになってほしいと私たちは考えています。

3

あの子の気持ち、分かるかな

「思いやりの心」を育む

皆が元気にあいさつを交わし合う環境の中で、園児たちには、他人の気持ちが分かる人に育ってほしいと願っています。例えば、毎朝元気なあいさつをする子が、今日はあいさつがなかったり、元気がなかった。そんな変化に、敏感な子どもたちは、すぐ気がつきます。そして、「こんな時は、どう声をかけようか、どんな表情でしようか……」子どもなりに考え、行動するでしょう。それが、他人の気持ちが分かる「思いやり」の第一歩です。

あいさつは、心の状態を表すバロメータ。それを察する感覚は、周囲に目を向け、相手をいたわる言動となります。それができる人は、必ず周りからも愛されるでしょう。思いやりの心は、人と共に生きてゆくために欠かせないものなのです。





「食べる」から学ぶ

～食育の充実～

食育への取り組み

常盤幼稚園では、「食育」の充実に積極的に取り組んでおり、最新機器を導入した独自の厨房を設け、毎日、手作りの給食を提供しています。

毎日の食事は、子どもたちの健康な体を作るだけでなく、食べ物や食材への興味関心を通して、彼らが大切なことに目を向けるきっかけになると考えるからです。

生きる力を、心身ともに養う食事を提供できるよう、努力してまいります。

1 五感が作られる大切な時期

五感の基礎が形成される、幼児期の体験は「心の引き出し」を増やします。給食では、多彩な食材、繊細な味に触れられるよう心がけると共に、加工食品が増える中、素材本来の味を生かした和食メニュー、ダシの味が分かる薄味にこだわり、微妙な味わいや美味しさを教えています。その驚きや感動は、子どもたちの感受性を豊かにし、今後の成長につながるでしょう。

2 四季折々の「旬」を体感

食べ物には、一年の中で最も美味しく、栄養価も高い「旬」があります。給食にはできるだけ旬の食材を使い、それを調理師の先生が子どもたちに教えるようにしています。豊かな自然に恵まれた日本では、先人たちが知恵と工夫をこらして、四季や風土に合わせた食生活を営んできました。「旬」を通して、子どもたちが日本の素晴らしい文化に関心を持つきっかけになればと願っています。

3 感謝できる心を養う

毎日の食事は、当たり前にあるものではありません。食材を作り、運んでくれた人、調理してくれた人、多くの人たちの苦労や思いがあります。そして何より、たくさんの尊い命を頂いています。当園では、それらへの大きな感謝をこめた「いただきます」「ごちそうさま」の心を、ひいては、様々な出来事に感謝できる心を、子どもたちに伝えていきたいと思ひます。



保護者の声

当園には、保護者の皆様から、日々の保育やお子様の成長を喜ぶメッセージが、たくさん寄せられています。それらの声を、ほんの少しご紹介します。

※個人情報保護のため、一部編集しております。

親子のふれ合い、一生の思い出です

毎日×2、すごく楽しみにしていた親子体操。

子供も、少し前から「パラバルーンは、すごいいもろいねんで～。ママもできるで～!」と言っていました。

その言葉通り親も子も、心の底から楽しんで取りくめました。

親子体操…その名の通り、親と子のふれ合い体操…一生の思い出になり、楽しませて頂きました。

先生も、とっても気を付けて、私たちの事を見ていて下さり、たいへんだと思うけど、一生懸命、力をそそいで下さっている姿は、見ていてわかりました。

どうもありがとうございました。そして、これからも、がんばって下さい。



子どもへの愛情いっぱいの給食

給食試食会では、栄養士の先生と幼稚園の先生方が、こんなに子どもたちのことを考えて給食を食べさせてくれているんだと、改めて嬉しく思いました。

鰯のフライなど、手間のかかる料理を毎日作れないので、本当にありがたいと思いました。

鰯などは、子どもにとっては、苦手な食材だと思いますが、子どもでも好んで食べれる味付けで、毎日残さずに食べてくれるのも、なるほどだなと思いました。

本当においしくいただきました。ごちそう様でした。

いつも子どもの目線に立ち、心を寄せてくれた先生

一年間お世話になり、本当にありがとうございました。

4月、期待よりはるかに大きな不安を胸に進級式を迎え、息子も私もハラハラドキドキでスタートしました。

進級当時、お友達とのかわり、お給食、その他色々な心配事がありました。

お忙しい先生に、そのような内容のお手紙を何度もお渡しし、先生からそのたびに暖かいお返事をいただいた事が、まだつい最近のようです。が…あれからもう一年が経ったんですね。

特にお給食の事では、毎日毎日ほとんど食べられず、食べてももどしてしまう子供に、母親としてどのように接していいのか悩み、行き詰まった時も、先生の優しく頼もしいお手紙に、子供を先生に預けている事に、どれほど心強く、安心感を得たかわかりません。

いつも子供の目線に立ち、子供に心を寄せてくださっている事で、毎朝安心して送り出す事ができました。そして、いつも温かく、優しく、楽しく、時には厳しく、熱心にご指導していただいた事に深く感謝いたします。

息子はこの一年間で大きく成長したと思います。息子にとって、この一年間が本当に有意義な日々であったと確信しています。

それは、先生が息子の持ち味を把握し、良い部分をどんどん引き出してくださったおかげだと思っています。

本当に何とお礼を申し上げていいのかわかりませんが、私達両親、そして祖父母もこの一年間の息子の成長を嬉しく思うと共に、先生に出会い、心温かく熱心にご指導いただいた事に感謝いたします。

園の生活で、社会への信頼感を築けた

泣いてばかりで何ひとつできなかった子どもも、遅いながらも着替えや食事といった生活の自立が少しずつできるようになりました。

そして、親の知らない時間にいろんなことを教えてもらって経験し、運動会や生活発表会等ですごい成果をみせてくれたことは感動でした。

親から離れ、初めて社会に出て、親と同じように愛情をかけてもらえるということは、社会への信頼感をしっかり築けたことと、本当に感謝しております。



お問い合わせ



学校法人常盤学園 ときわ幼稚園

常盤幼稚園

〒634-0003 奈良県橿原市常盤町332-5

TEL:0744-29-1020

FAX:0744-22-7828

HP <http://www.tokiwa-youchien.com/>

